

# 古新田保育所再整備基本計画

令和5年8月  
八潮市

## 《目 次》

1	現状	2
(1)	市内人口・申込児童数等	2
(2)	市内保育施設の整備状況	2
2	公立保育所の状況	3
(1)	公立保育所の施設状況	3
(2)	基幹となる公立保育所	3
(3)	保育需要の変化（公立保育所の役割）	3
(4)	市内保育施設の配置状況及び公立保育所の特徴	4
3	基本方針	5
(1)	保育方針・保育目標等	5
①	保育方針	5
②	保育目標等	5
(2)	整備方針（再整備コンセプト）	5
①	保育機能（定員）	5
②	体験機能	5
③	地域交流機能	5
(3)	再整備場所	6
4	施設規模等	7
(1)	施設階数	7
(2)	施設規模	7
(3)	概算事業費	7
(4)	施設配置	8
5	整備スケジュール	8

## 1 現状

### (1) 市内人口・申込児童数等

本市の市内人口は、つくばクスプレスの開通、駅周辺の土地区画整理事業の進捗等により増加傾向で推移してきたが、令和4年度は前年度と比較して減少となっており、0～5歳人口は令和3年度から減少傾向となっている。しかしながら、申込児童数は増加幅が小さいものの、未だ増加しており、入所保留児童数が200人前後で推移している状況である。

また、最近の傾向として、1～3歳児の保育需要が多く、特に1歳児が多い傾向にあり令和4年度の待機児童は全て1歳児であった。

単位：人

	H30	H31	R2	R3	R4
市内人口	89,212 —	91,148 +1,936	92,262 +1,114	92,496 +234	92,042 ▲454
0～5歳人口	4,450 —	4,588 +138	4,734 +146	4,688 ▲46	4,486 ▲202
申込児童数	1,327 —	1,547 +220	1,710 +163	1,789 +79	1,804 +16
入所決定児童数	1,195 —	1,416 +221	1,530 +114	1,584 +53	1,624 +40
入所保留児童数	132 —	131 ▲1	180 +49	205 +25	180 ▲25
待機児童数	45 —	0 ▲45	35 +35	26 ▲9	14 ▲12
認可保育所整備	3か所	(病児)	1か所	1か所	—
小規模整備	4か所	1か所	1か所	1か所	2か所

※ 数値は各年4月1日時点

### (2) 市内保育施設の整備状況

現在、市内には公立、民間合わせて34の施設が整備され、1,721人の定員を確保している。しかし、保育士不足や気になる児童への対応等から、保育士の配置が不足する施設があるため、確保定員全ての受入れが出来ず、本来の受入れ機能が十分に発揮できていない状況である。

令和4年4月1日時点

	施設数	認可定員(人)	備考
公立保育所	4	270	
民間	認可保育所	1,117	
	認定こども園	118	
	小規模保育施設	216	+病児保育施設
合計	34	1,721	

## 2 公立保育所の状況

### (1) 公立保育所の施設状況

	施設名	構造	耐用年数 期 間	アクションプラン 位置付け
1	八条保育所 (定員 60 人)	S 造	50 年 S47-R4	大規模改修・耐震改修が必要 経年相応の劣化が見られる
2	伊草保育所 (定員 60 人)	S 造	50 年 S47-R4	大規模改修・耐震改修が必要 劣化が著しい
3	古新田保育所 (定員 60 人)	木造	32 年 S51-H20	今後 10 年間に建替えが必要 劣化が著しい
4	南川崎保育所 (定員 90 人)	S 造	50 年 H8-R28	大規模改修・耐震改修が必要 経年相応の劣化が見られる

### (2) 基幹となる公立保育所

	南川崎保育所 (公立維持位置付け)	伊草保育所 (基幹選定)	古新田保育所 (基幹選定)
施設 形態	(単独の保育施設)	・子育て支援複合(集約)施設を検討中	・単独の保育施設
選定 理由等	(南部圏域での立地)	・相当数の申込量 ・北部圏域での立地 ・近接公共用地 (建替えが容易)	・相当数の申込量 ・民間での立地困難 ・隣接公共用地 (建替えが容易)

### (3) 保育需要の変化(公立保育所の役割)

今まで、待機児童解消のため、行政、民間両者により保育施設の整備を進め定員を確保し、一般的な保育需要に対応してきた。

最近では、公立保育所は、民間保育所では対応が難しい心身の発達などで保育士の加配が必要な児童や虐待関係の要保護児童などの保育が増加しており、定員の児童数より入所児童数を抑え、手厚く職員を配置して対応している。

また、令和3年の法改正により、医療的ケア児の受入れ環境についても整えていく必要があることから、看護師等の専門的知識を有する職員を配置していくなど、保育需要の多様化に対応するため公立保育所が担う役割は変化している。

#### 【公立保育所 保育士の加配対象児童等の状況】

	令和3年度	令和4年度
加配対象児童等	56人	63人
医療的ケア児等	0人	1人
合計	56人(約14人)	64人(約16人)

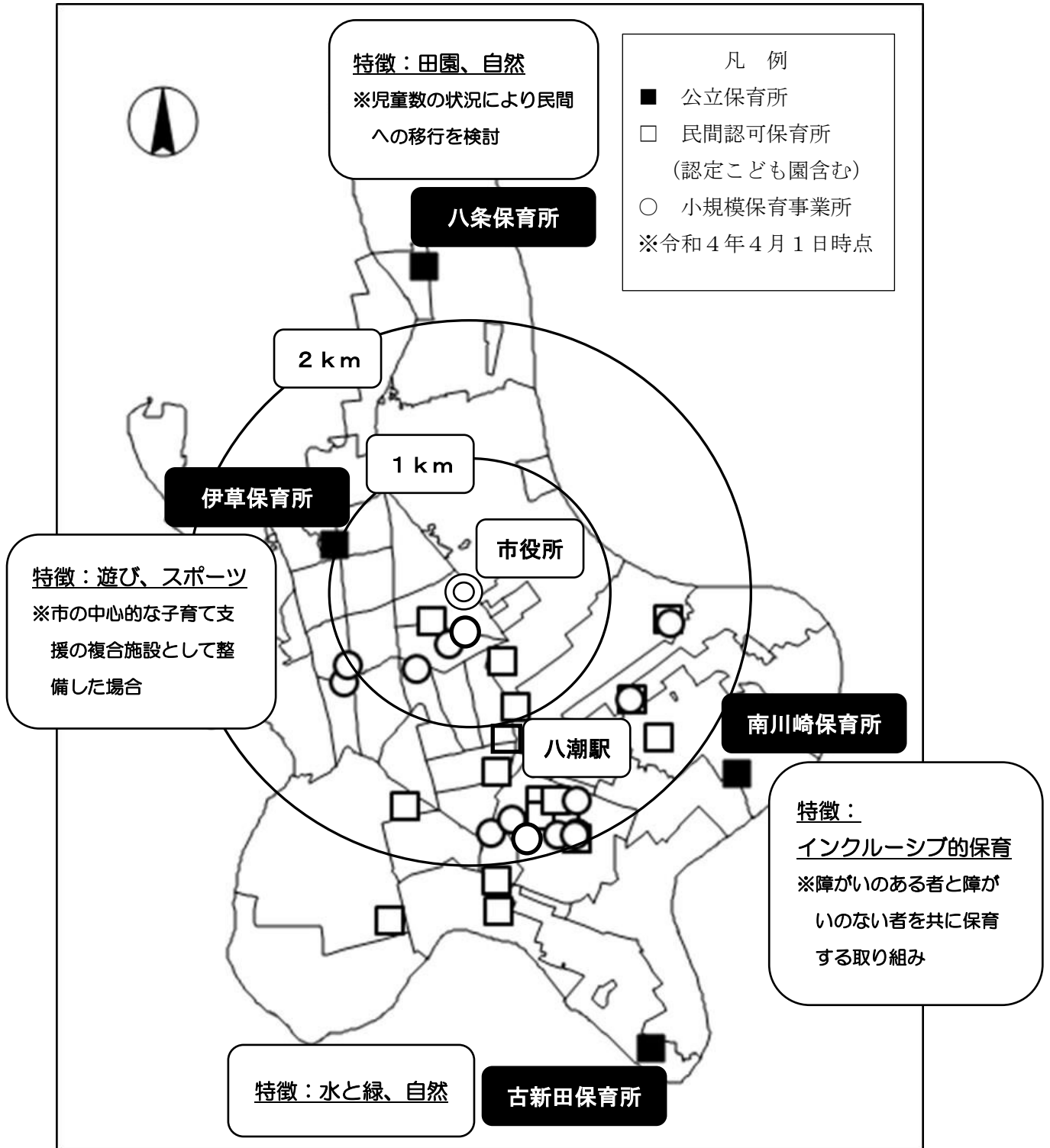
※( )内の数値は1施設当たりの平均人数。医療的ケア児等は令和4年5月まで通所。

#### (4) 市内保育施設の配置状況及び公立保育所の特徴

民間の認可保育所や小規模保育施設は、八潮駅周辺に立地が集中しており、公立保育所はそれを囲むようにバランスがとれた配置となっているが民間では整備が難しい、市域の端に立地しているものもある。

また、公立保育所は、周辺の自然環境や障がい児の療育と併せた保育機能など、それぞれ特徴をもっており、再整備や大規模改修時に、その特徴を活かしたコンセプトを検討するものとする。

【保育所配置状況及び公立保育所の特徴図】



### 3 基本方針

#### (1) 保育方針・保育目標等

- ① 保育方針：健康で明るく心豊かな子どもに育てましょう。
- ② 保育目標等

保育目標	もりもり食べて元気に遊ぶ子 お話の聞ける子 話せる子 思いやりのあるやさしい子
施設紹介	八潮市の南部に位置し、周りに畑も多く緑に囲まれています。四季折々の自然に触れながら、子ども達と季節の野菜を育て、収穫の喜びや旬の野菜を味わう経験も大事にしています。 家庭的な雰囲気大切に、子どもと保護者もほっとする保育所を目指し、日々保育を行っています。
特記事項	毎年秋に焼き芋大会を行っている。

#### (2) 整備方針（再整備コンセプト）

##### 「水と緑、四季折々の自然にふれあう古新田保育所」

- ・ 古新田保育所のシンボルとなっている「桜の木」を活かす整備。
- ・ 季節の野菜を育て、自然にふれあう場所「ミニ農園」の整備。

##### ① 保育機能（定員）

定員は、現在の定員を確保しつつ、1～3歳児の増加に対応した定員とし、2歳児以上は1歳児の定員と同等若しくはそれ以上とする。

なお、保育室は、待機児童や多動傾向が見られる児童に対応するため、ゆとりを持った設計とする。

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
旧定員	3人	3人	6人	16人	16人	16人	60人
新定員	6人	12人	12人	20人	20人	20人	90人

##### ② 体験機能

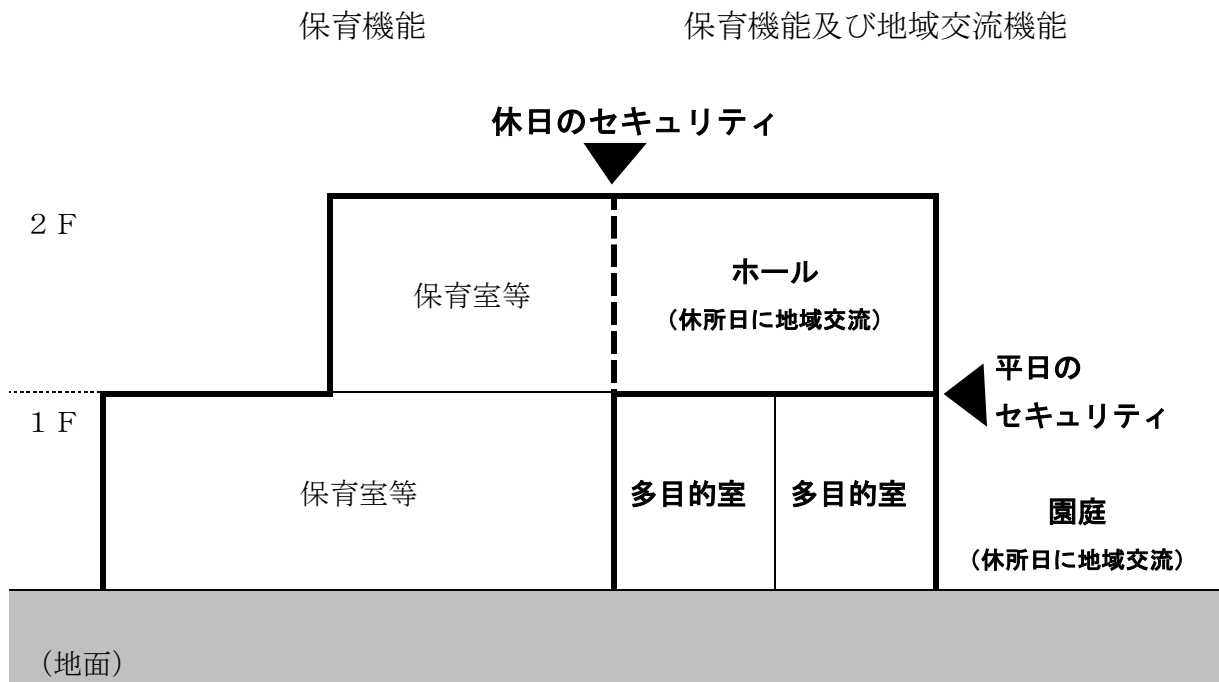
子ども達と季節の野菜を育て、収穫の喜びや旬な野菜を味わう経験をするため、園庭の一部に「ミニ農園」を整備する。野菜等を育てることで、季節の移り変わりを知り、自然と触れ合い、自然の生物に触れ合うことで知的好奇心も刺激される。自然の中で遊ぶこと自体が情操教育となる。

##### ③ 地域交流機能

保育所に地域交流機能を持たすとともに、保育所運営が安定した後は、休所日にその一部を地域交流に活用する仕組みを検討する。

交流の仕組みの例	内容例
多目的室の設置 (子育てひろば)	・ 概ね0～2歳児及びその保護者が交流 ・ 子育てに関する相談、イベントの実施等
多目的室の設置 (暫定学童保育所)	・ 当面は学童保育所として活用（その後は、未就学児又は小学校低学年向けの遊び場に活用）
保育施設の利活用	・ 保育所運営の安定後は、休所日にホールや園庭を市の事業や地域でのイベント等に活用 ・ 保育所行事（焼き芋大会等）への地域市民の参加

## 【新古新田保育所のイメージ】

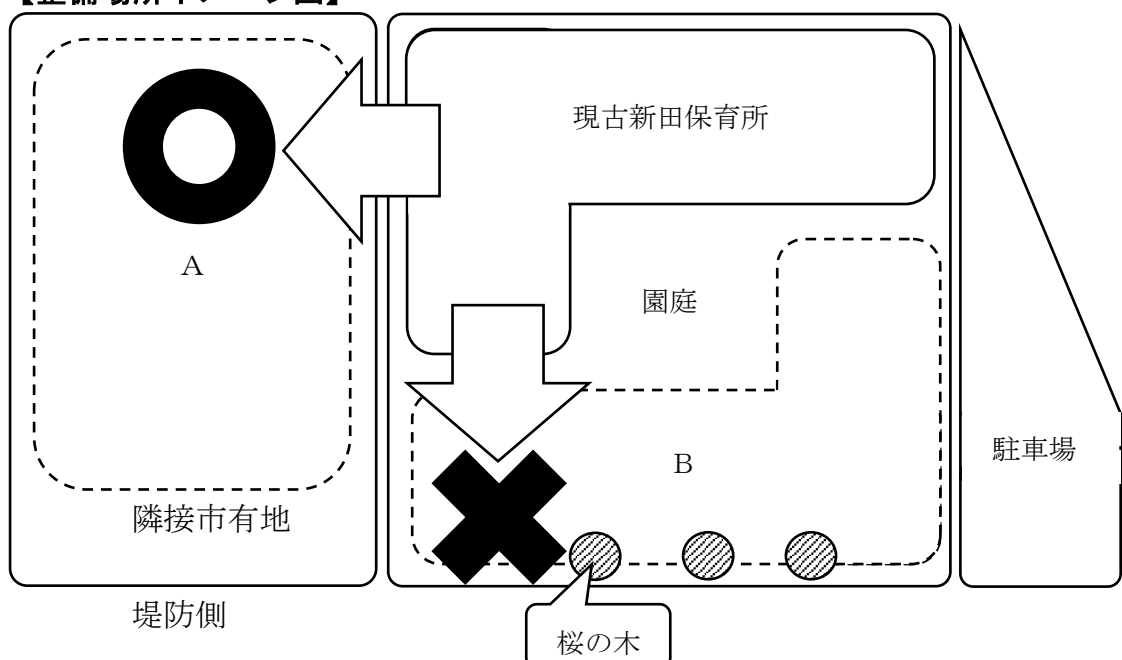


### (3) 再整備場所

古新田保育所の再整備は、安全確保、経済性（仮設が少ない）、古新田保育所の自然（シンボルである桜の木等）を活かす配置などの面から隣接する市有地を活用するとともに、工事中も現古新田保育所での保育を継続して行いながら、既存の園庭を最大限に有効活用することを検討する。

なお、隣接市有地が活用できず、整備場所イメージ図のBの位置に再整備した場合、園舎が北向きとなってしまう日当たりが悪くなってしまいます。このため、現在の保育所の位置に建替える必要が生じ、この場合、保育機能を停止することができないため、仮設の建物が必要となり再整備費が上昇してしまう。

#### 【整備場所イメージ図】



#### 4 施設規模等

##### (1) 施設階数

古新田保育所は大場川の堤防に接しており、大規模な自然災害を想定し垂直避難ができる2階建て以上とする。

##### (2) 施設規模

	想定室名	想定面積 (㎡)	備考
保育ゾーン	0歳児～5歳児室	約490	
	調乳室		
	沐浴室		
	園児用トイレ		
	ホール		
調理ゾーン	調理室	約50	※一般用
	検収室		
	更衣室		
	倉庫		
	トイレ		
	エレベーター※		
管理ゾーン	職員室	約150	※職員室内に設置
	医務室※		
	更衣室		
	休憩室		
	職員用トイレ		
	倉庫		
	相談室		
共用ゾーン（玄関、廊下等）		約200	
地域交流ゾーン		約210	
共用（玄関、階段等）			
多目的室			
多目的室			
合計		約1,100	

※施設階数や施設面積等については、今後、基本設計において決定する。

※駐車場は、可能な限り広く確保し、古新田保育所周辺に居住する市民の妨げにならないよう配慮する。

##### (3) 概算事業費

約5～6億円程度を予定する。

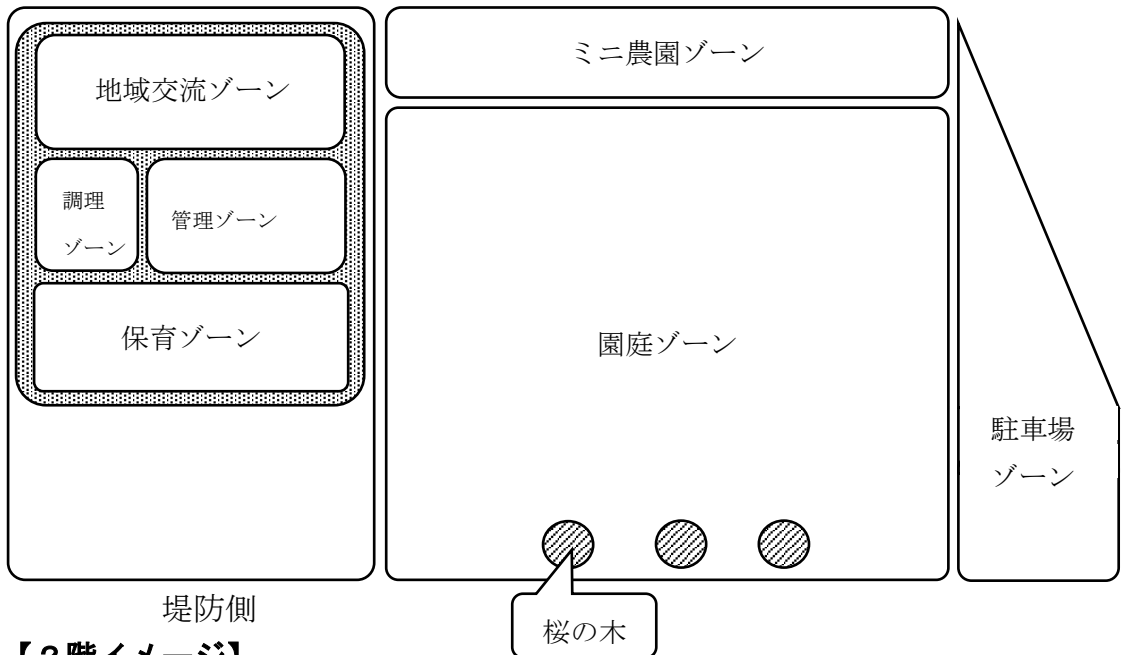
※独立行政法人福祉医療機構の調査単価等による概算。

※今後の物価上昇や施設整備内容の決定等により概算事業費は変動。

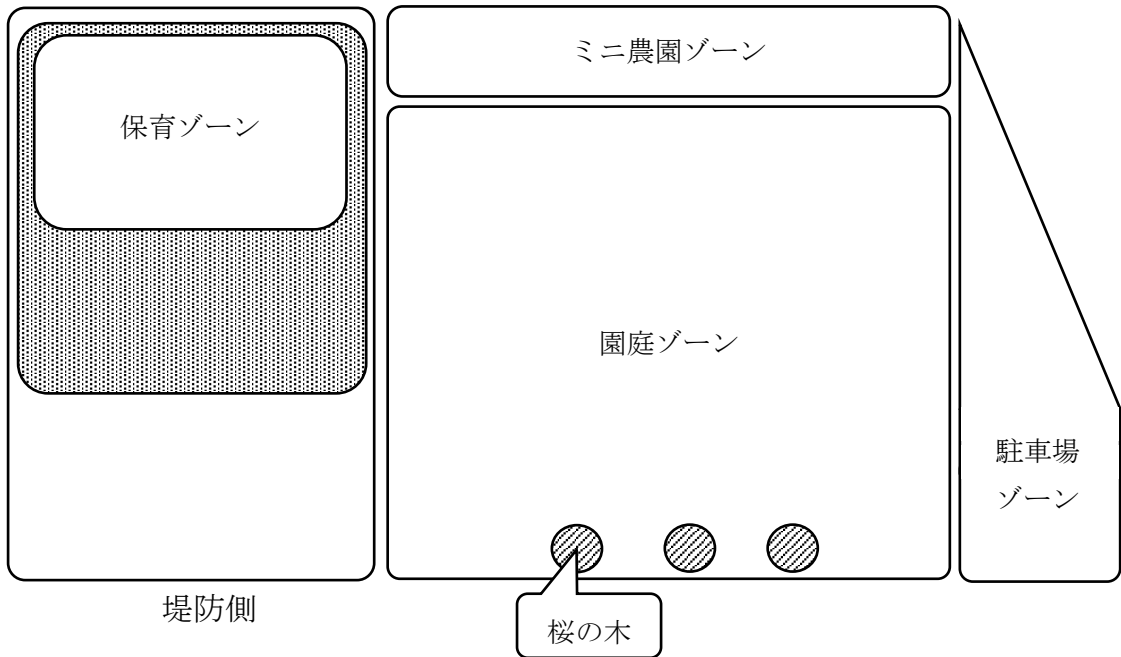


(4) 施設配置

【1階イメージ】



【2階イメージ】



5 整備スケジュール

古新田保育所周辺では、民間開発事業者による137区画の宅地分譲が予定されており、入居は、令和6年度後半から令和7年度がピークと思われる、令和7年度中の保育所の開所を目指すこととする。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
民間開発	造成 ~R6.1	建築等	入居	
保育所整備	基本 計画	設計	施工	開所

